

## 安全対策情報（2013年1～3月）

### 1 社会・治安情勢

管轄5州では特異事案の発生もなく、比較的治安は安定している。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 当館が所在するテネシー州ナッシュビル市においては、昨年同時期と比較して強盗が微増傾向にあるが（3.0%増）、他の凶悪犯罪（殺人、強姦、傷害）は大幅に減少している（殺人：21.4%減、強姦：5.5%減、傷害9.9%減）。また、窃盗等の財産犯罪についても減少傾向にあり（昨年同時期から4.3%減）、全体として治安の良化傾向が伺える。
- (2) 南部ルイジアナ州の観光都市ニューオーリンズ市は、2011年に続き2012年も殺人件数が高水準となった。同市は米国内で人口10万人あたりの殺人件数が最多となっており、平成24年中の10万人あたりの殺人件数は56件で、全米平均（4.7件）の約1.1倍となっている。1～3月における殺人事件発生件数は43件となっており、昨年よりも減少しているが依然として高水準で推移している。
- (3) ケンタッキー州レキシントン市においては、1～3月における殺人、強盗等の凶悪犯罪及び窃盗等財産犯罪の発生件数が前年同時期より約12%減少している。ミシシッピ州ジャクソン市においては、1月～3月初旬における殺人、強盗等の凶悪犯罪及び窃盗等財産犯罪の発生件数が前年同時期より約11.3%減少している。アーカンソー州リトルロック市においては、1月の犯罪発生件数は前年と比較し微増しているが、治安状況に大きな変化は見られない。

### 2 テロ・爆弾事件発生状況

把握なし

### 3 誘拐・脅迫事件発生状況

米国では多数の誘拐事件が報告されているが、その大半は親族間における事件（とりわけ、別居した親族による子供の連れ去り）とも言われている。当該期間における特異な誘拐事件には接していない。

### 4 日本企業の安全に関わる諸問題

把握なし

以上